



平成 25 年 11 月 7 日

各位

上場会社名 株式会社アーレスティ  
 代表者 代表取締役社長 高橋 新  
 (コード番号 5852)  
 問合せ先責任者 執行役員経営企画部長 辻 鶴男  
 (TEL 03-5332-6004)

## 業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩し並びに繰延税金負債の計上、 子会社における繰延税金資産の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 8 月 8 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。  
 また、併せて繰延税金資産の取崩し及び繰延税金負債の計上、並びに子会社における繰延税金資産の計上についてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

(1) 平成 26 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

|  | 売上高    | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1 株当たり四半期純利益 |
|--|--------|------|------|--------|--------------|
|  | 百万円    | 百万円  | 百万円  | 百万円    | 円 銭          |
| 前回発表予想 (A)                                 | 57,950 | 850  | 600  | 2,250  | 104.30       |
| 今回発表予想 (B)                                 | 58,100 | 850  | 770  | 2,420  | 112.19       |
| 増減額 (B-A)                                  | 150    | 0    | 170  | 170    |              |
| 増減率 (%)                                    | 0.3    | 0    | 28.3 | 7.6    |              |
| (ご参考) 前期第 2 四半期実績<br>(平成 25 年 3 月期第 2 四半期) | 52,094 | 370  | △67  | △524   | △24.33       |

(2) 平成 26 年 3 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

|  | 売上高    | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1 株当たり四半期純利益 |
|--|--------|------|------|--------|--------------|
|  | 百万円    | 百万円  | 百万円  | 百万円    | 円 銭          |
| 前回発表予想 (A)                                 | 33,900 | 450  | 650  | 2,700  | 125.16       |
| 今回発表予想 (B)                                 | 34,100 | 670  | 950  | 2,040  | 94.58        |
| 増減額 (B-A)                                  | 200    | 220  | 300  | △660   |              |
| 増減率 (%)                                    | 0.6    | 48.9 | 46.2 | △24.4  |              |
| (ご参考) 前期第 2 四半期実績<br>(平成 25 年 3 月期第 2 四半期) | 34,924 | 102  | 99   | △54    | △2.51        |

#### (3) 修正の理由

連結及び個別共に売上高については、ほぼ前回予想通りとなる見込みですが、個別の各利益及び連結の経常利益が前回予想に対して大きな差異が出る見込みです。個別の営業利益は販管費の低減及びダイカスト部門の増収に伴う効果等によるもので、経常利益は営業利益の増益要因に加えて雑収入等営業外収益が想定を上回る見込みによるものです。また、四半期純利益は下記 2 による繰延税金資産の取崩し及び繰延税金負債の計上により、法人税等調整額が想定以上となる見込みによるものです。

連結の営業利益は個別の営業利益の増益が見込まれるものの海外子会社の売上減少に伴う減益等が見込まれることから前回予想通りとなり、経常利益は主に支払利息が想定よりも少なくなることが見込まれることによるものです。また、四半期純利益は個別の

法人税等調整額の影響のほか、下記3による子会社の繰延税金資産の計上等が見込まれることによるものです。

なお、通期の業績見通しについては現在精査中であり、業績修正が必要と判断した場合は、速やかにお知らせいたします。

## 2. 繰延税金資産の取崩し及び繰延税金負債の計上

個別の繰越欠損金の解消に伴う繰延税金資産の取崩し5億円程度、買換資産の圧縮に伴う繰延税金負債の計上5億円程度を見込んでおります。

## 3. 子会社の繰延税金資産の計上

子会社3社において、業績動向を踏まえて繰延税金資産の回収可能性等について検討した結果、繰延税金資産を8億円程度計上する見込みです。

(注)本資料に記載されている業績見通し等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上